

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国際物流論	
科目基礎情報							
科目番号	0215			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	国際物流の理論と実務 日本海運SHIPPING NOW 日本船主協会						
担当教員	笹谷 敬二						
到達目標							
海、船、海運 という広い知識体系の俯瞰から国際物流の基礎に焦点をあてて学ぶ							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価基準 1		国際海上物流について深く理解している。		国際海上物流について理解している。		国際海上物流について理解していない。	
評価基準 2		課題研究を十分に発表できる。		課題研究を概ね発表できる。		課題研究を発表できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	物流の基礎的な概念を知る。国際物流に係る輸送・荷役・保管などの機能について学ぶ。						
授業の進め方・方法	教科書及び参考図書を中心に、国際輸送の重要性と国内輸送の関係に触れながら海上輸送の基礎的知識を講義する。						
注意点	①国際海上物流に興味を持てるように努力する。 ②学生とのコミュニケーションに努める。 ③理解度を確認しながらすすめる努力をする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス講義予定と方針		海運、物流としての 内航海運 外航海運について		
		2週	貿易と物流		貿易と国際物流		
		3週	国際物流の特徴		生産基地の現地化に伴う物流の変化」		
		4週	国際物流と海運業		外航海運の役割について		
		5週	"		外航海運の役割について		
		6週	船のトン数等		各種トン数、総トン数と国際総トン数の定義と使い分け		
		7週	海上労働について		船員労働の特徴について		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	国際海上物流に関わるルール		関税法、海商法など		
		10週	国際条約 1		海上安全に関わる主な国際条約		
		11週	国際条約2		海上安全に関わる主な国際条約		
		12週	交通 物流サービス		交通 物流サービスの特徴 陸運と海運の関係		
		13週	輸送モード		輸送モードの種類と役割について		
		14週	最新の国際物流実務				
		15週	期末試験				
		16週	回答返却 解説 授業 アンケート 等				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	商船系分野 (航海)	載貨	復原性と船の安全性の関係について説明できる。		4	
				船の重心、浮心、傾心等の専門用語の意味を説明できる。		4	
				貨物の移動・積み降ろしによる重心移動について、その移動距離を計算により求めることができる。		4	
				重心、浮心、傾心それぞれの位置関係から、船体の安定・不安定を評価できる。		4	
				復原力について、包括的に説明できる。		4	
				喫水標から船の喫水を測読する方法を説明できる。		4	
				測読した喫水について、各種修正方法を説明できる。		4	
				液体の比重差により喫水が変化することを説明できる。		4	
				Dead Weight Scaleを用いて必要な値を求める方法を説明できる。		4	
				貨物の移動・積み降ろしによるトリム及び喫水の変化について計算できる。		4	
				船舶の載貨能力、貨物の種類について説明できる。		4	
				燃焼の三要素について説明できる。		4	
				引火点、発火点、爆発限界などの用語について説明できる。		4	
				危険物を輸送する際に取られる様々な安全対策について説明できる。		4	
				貨物を管理する上での様々な危険項目について説明できる。		4	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	60	30	0	10	0	0	100
基礎的能力	50	20	0	10	0	0	80
専門的能力	10	10	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0